



2024年10月26日（オンライン）

ESDの推進と文部科学省の取り組みに関する講義が行われるオンライン活動に参加しました。これによりESDを推進する重要性を理解することができました。具体的には、カリキュラムに取り入れる方法、学校単位の協力関係の構築、教員研修の実施、そして学習のための技術の活用などが説明されました。ESDを正式な教育の一部として推進している点で特に、日本は世界的に重要な役割を果たしています。



2024年11月5日～11日 広島

広島で教育文化を体験し、交流したことは、さまざまな側面で貴重な学びに満ちた経験でした。学んだことは後述の通りです：

#### 1. 日本の教育制度：

**規律と時間厳守：**日本の生徒と教師には厳しい規律、時間厳守、そして強い責任感があります。

**協力の重視：**グループ活動や生徒同士の団結を育むことが重要です。

**知識と日常生活のつながり：**日本のカリキュラムは、生徒が学んだ知識を日常生活に活用できるようにすることに重点を置いています。

#### 2. 学びの雰囲気と清潔さ、組織について：

日本の学校では、学習環境を整えて清潔さと秩序を保ち、学習に集中できるように促されます。

#### 3. 文化交流

**文化交流：**食べ物、伝統、または文化的表現に関する活動、例えば、タイの踊りを日本の子供たちに教えたり、タイの歌を教えたりしました。

**絆を育む：**経験を学び合うことにより、日本の教師や生徒との良好な関係を築くことができました。

#### 4. 学習管理

**学習者中心の教育政策：**カリキュラムの開発や多岐にわたる政策は、各課程における生徒たちのニーズに対応するように設計されています。

**教職員に対する支援：**委員会は、研修、専門的な成長支援、および教育資源の配分を通じて、教職員を手助けする重要な役割を果たしています。

**学校と地域社会の関係の発展：**学校、保護者、地域社会との協力を促進するための努力がなされています。



## ☀ 目的

1. タイの教師に知識と経験を伝え、教授技術や教育概念をさらに良くしていくこと。
2. タイの生徒たちが日本の手本になる部分から知識と気づきを得られるようにすること。
3. デザイン部の生徒に年賀状やお礼状をデザインし作成させ、それらを蔵王小学校の2年生に送ること。(T8のKoy先生と共に)

## ☀ 実施要項

1. 学校の管理職と会議を行い、知識を伝えるための目標や戦略を設定し、関連する情報、経験、教材を収集をする。
2. 教材の開発：活動に参加して得た経験を基に、スライドやビデオなどの教材を作成すること。
3. プロジェクトに関する情報を教員や生徒に広報し、参加希望者を集めること。
4. デザイン部の生徒は、年賀状やお礼状をデザインし作成する。2024年12月1日から10日までの間の年賀状回収期間の後に、日本に送られます。

## ☀ 期待できる結果

1. タイの教員と生徒は、教育発展に向けた新しいアイディアと気づきを得ることができる。
2. 蔵王小学校の2年生は、タイの生徒から年賀状を受け取る。